

放射線科だより



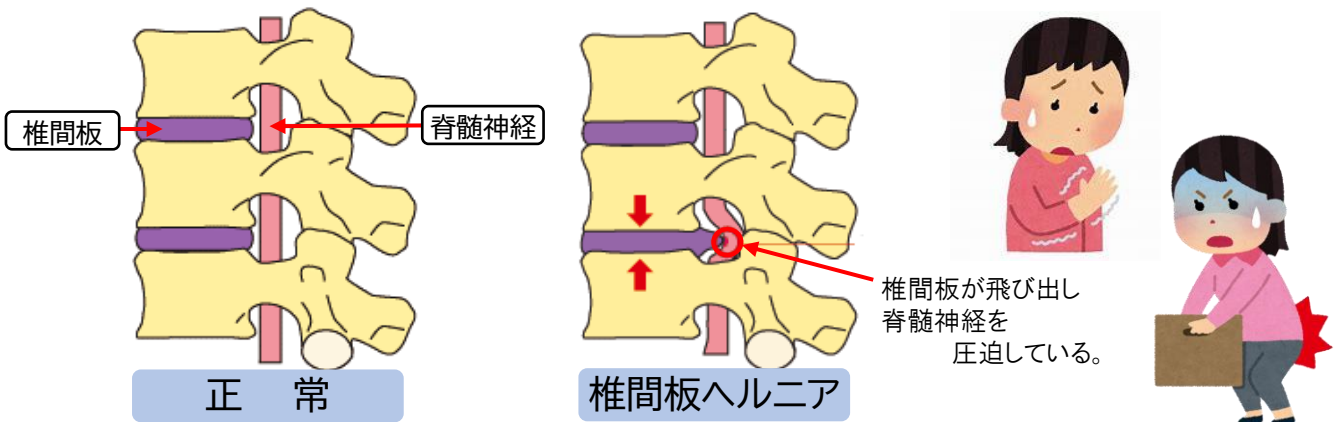
令和4年10月1日
診療放射線科 徳田 一泰

《腰②：椎間板ヘルニア》

・ 椎間板（ついかんばん）ヘルニアとは？

椎間板ヘルニアとは、背骨を構成する骨（椎骨）の間にある軟骨（椎間板）が変性し後ろに飛び出し、付近にある神経を圧迫することで、痛みやしびれなどの症状が発生する病気です。

重いものを持ち上げた時、あるいは何かの拍子に突然立ってられないほどの腰痛で動けなくなった。または手足にひびくような痛みやしびれを感じる。排便/排尿ができない。などの症状がある場合は“椎間板ヘルニア”が疑われます。



・ 検査/診断

椎間板ヘルニアの診断にはレントゲン検査とMRI検査が行われます。

レントゲン検査は椎骨の形や、骨折の有無を調べます。椎間板や脊髄神経の状態を画像化し詳細に観察できるMRI検査は、欠かせない検査となっています。

